

3 サケ年齢組成と体サイズ

独立行政法人水産総合研究センター
北海道区水産研究所 さけます資源部

- ・北海道では前年より 5 年魚が多く 4 年魚が減少、3 年魚は 1990 年以降で最も少ない
- ・本州太平洋では 4~5 年魚が前年を上回り、3 年魚は前年を下回るが、1990 年代以降との比較ではいずれの年齢も低水準
- ・本州日本海では、4~5 年魚がともに前年を下回るが、3 年魚は前年を大幅に上回る
- ・北海道および本州の太平洋側では、2009~2006 年級 (今年の 3~6 年魚) がいずれも 1992 年級以降で 1~3 番目に低い水準
- ・北海道のサケの平均重量は 3.1kg で小型化が顕著だった 1990 年代前半よりも小さい

・ サケの年齢組成

(全国)

全国の主要な河川で調べたサケの年齢査定結果 (途中経過) をもとに、11 月末時点の年齢別来遊数を推定すると、4 年魚 (2008 年級) は対前年同期比 82.8%、5 年魚 (2007 年級) は対前年同期比 159.8%であり、来遊の主群を構成する 4 年魚で前年を下回り、5 年魚で前年を上回っています (図 1)。また、3 年魚 (2009 年級) は対前年同期比 65.0%であり、3 年魚としては 1990 年以降で最も少ない来遊数となっています。

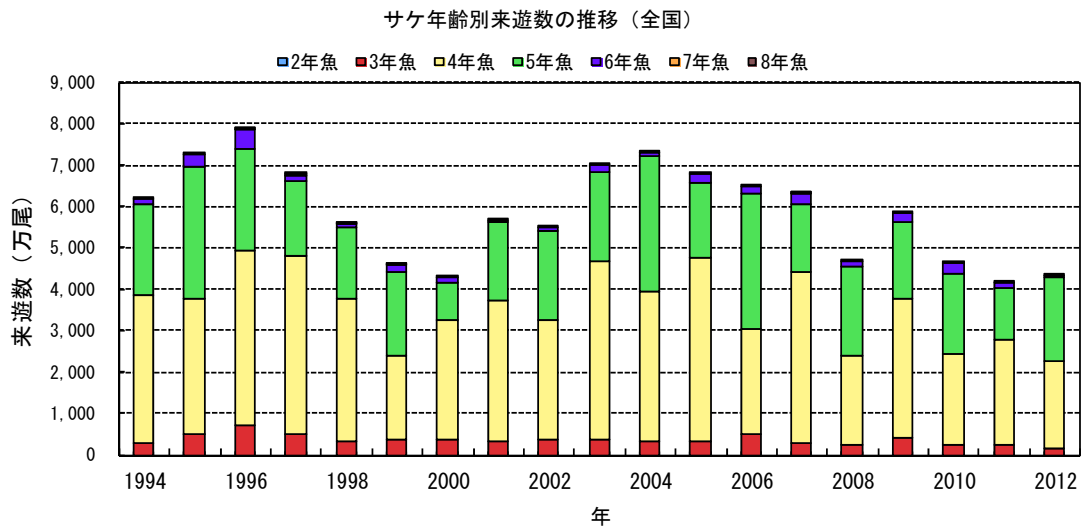


図 1. 11 月末時点のサケ年齢別来遊数 (全国)

(北海道)

現時点で最も来遊数の多い 5 年魚 (2007 年級) は対前年同期比 160.7%、次に来遊数の多い 4 年魚 (2008 年級) は対前年同期比 80.1%であり、来遊の主群を構成する 4 年魚で前年を下回り、5 年魚で前年を上回る来遊数となっています (図 2)。3 年魚 (2009 年級) は対前年同期比 63.8%であり、1990 年以降で最も低い来遊数となっています。

年級ごとの来遊数をみると、今年の4～6年魚である2008～2006年級は、これまでに回帰した年齢までの来遊数で比較した場合、いずれも1992年級以降で2～6番目に来遊数の少ない年級に相当します(図3)。この傾向は太平洋側(根室～えりも以西海区)で特に顕著であり、当該地域の2006～2008年級は、1992年級以降でみると、いずれも1～3番目に少ない来遊数になっています(図4)。それとは対照的に、日本海側(オホーツク海区及び日本海区)の2006～2008年級は、2007年級で過去(1992年級以降)3番目に高い水準となっており、2006および2008年級で過去(1992年級以降)の平均的な来遊数と同等もしくはそれを上回る水準になっています(図5)。

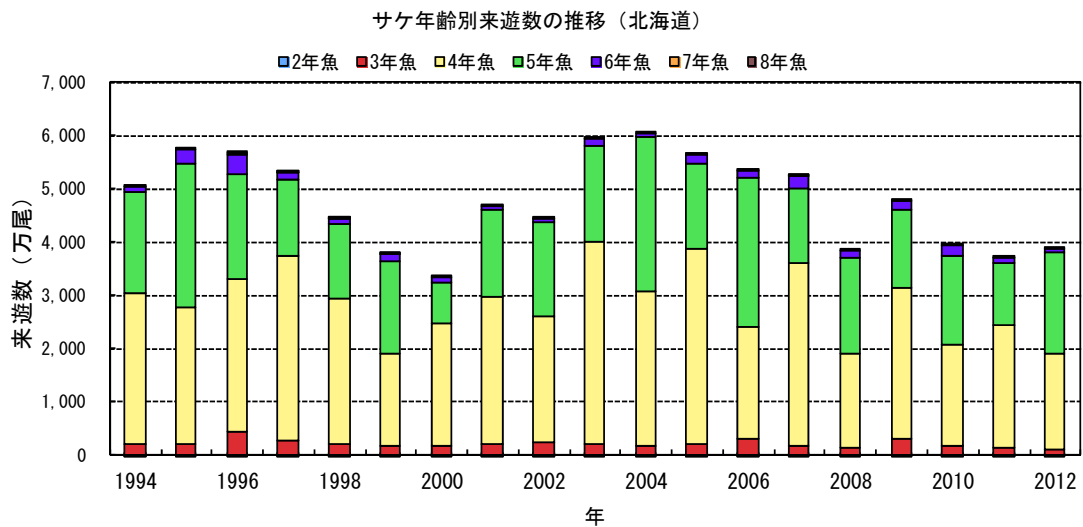


図2. 11月末時点のサケ年齢別来遊数 (北海道)

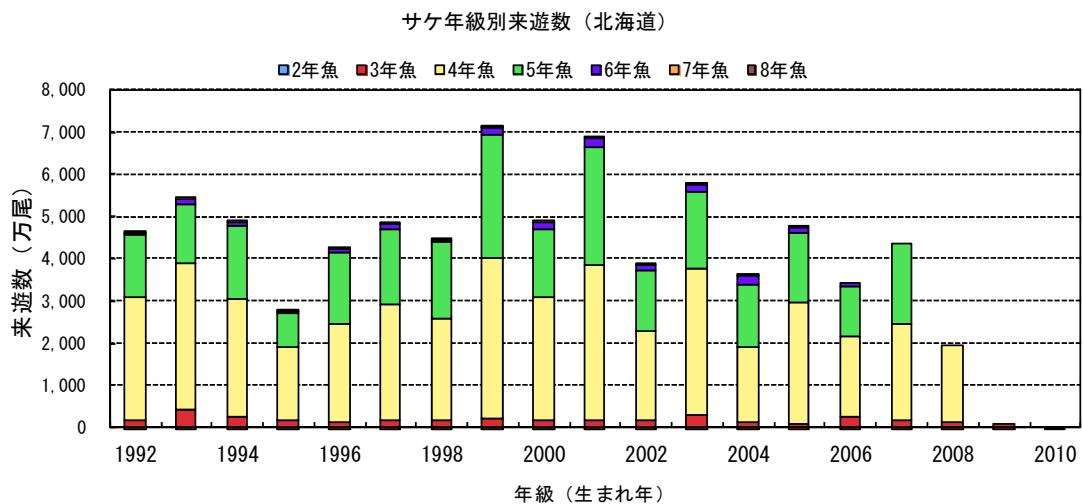


図3. 11月末時点のサケ年級 (生まれ年) 別来遊数 (北海道)

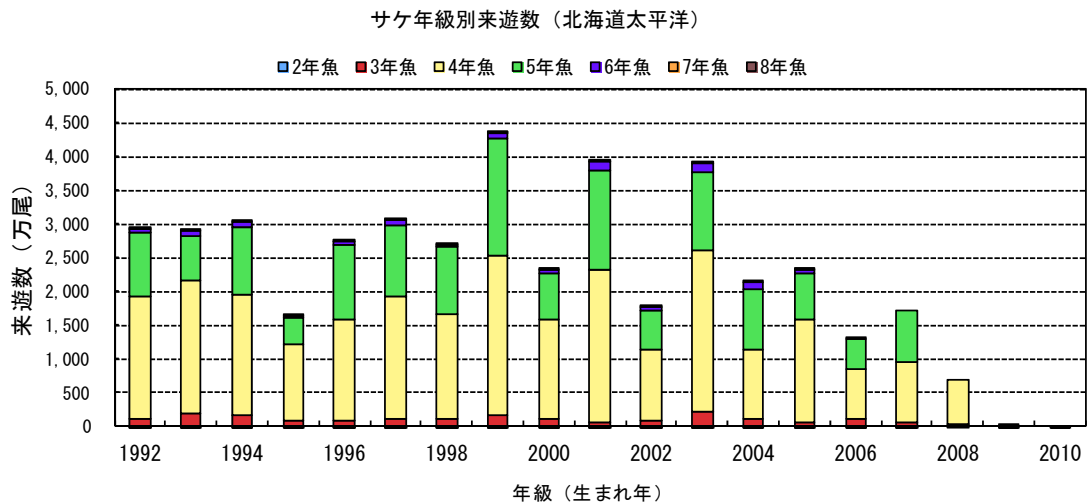


図 4. 11 月末時点のサケ年級（生まれ年）別来遊数（北海道太平洋）

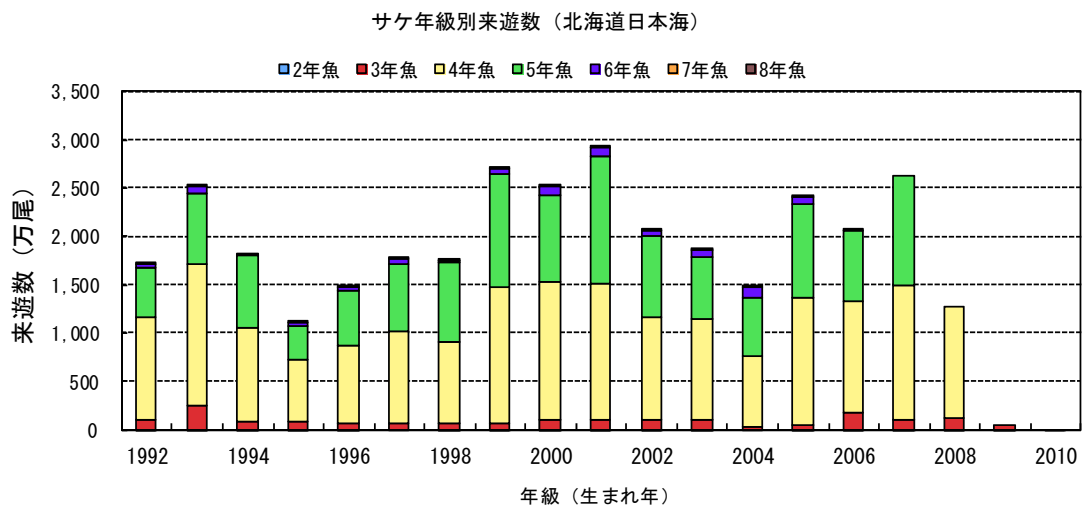


図 5. 11 月末時点のサケ年級（生まれ年）別来遊数（北海道日本海）

（本州）

本州太平洋側では、4 年魚（2008 年級）が対前年同期比 112.4%、5 年魚（2007 年級）が対前年同期比 156.0%であり、来遊の主群を構成する 4～5 年魚で前年を上回る来遊数となっています（図 6）。一方、3 年魚（2009 年級）は対前年同期比 41.0%であり、前年を大きく下回る来遊数となっています。それとは対照的に、本州日本海側では、4 年魚（2008 年級）は対前年同期比 68.5%、5 年魚（2007 年級）は対前年同期比 69.1%であり、来遊の主群を構成する 4～5 年魚で前年を下回る来遊数となっています。一方、3 年魚（2009 年級）は対前年同期比 207.2%であり、前年を大きく上回っています（図 7）。

年級ごとの来遊数をみると、今年の 4～6 年魚である 2008～2006 年級は、これまでに回

帰した年齢までの来遊数で比較した場合、太平洋側では 1992 年級以降でいずれも 1～2 番目に少ない来遊数に相当します (図 8)。日本海側でも、過去 (1992 年級以降) の平均的な来遊数を下回る水準になっています (図 9)。

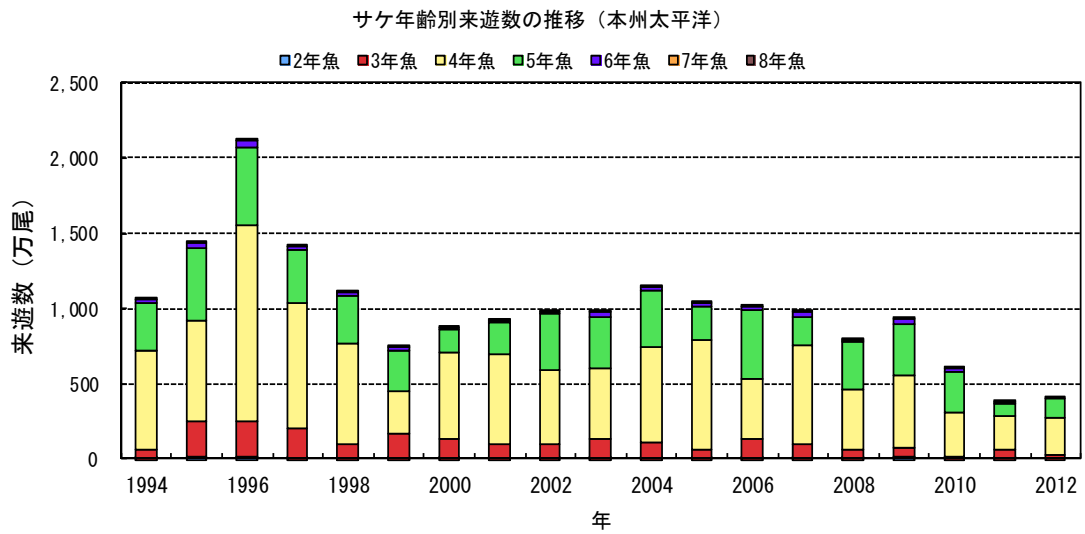


図 6. 11 月末時点のサケ年齢別来遊数 (本州太平洋)

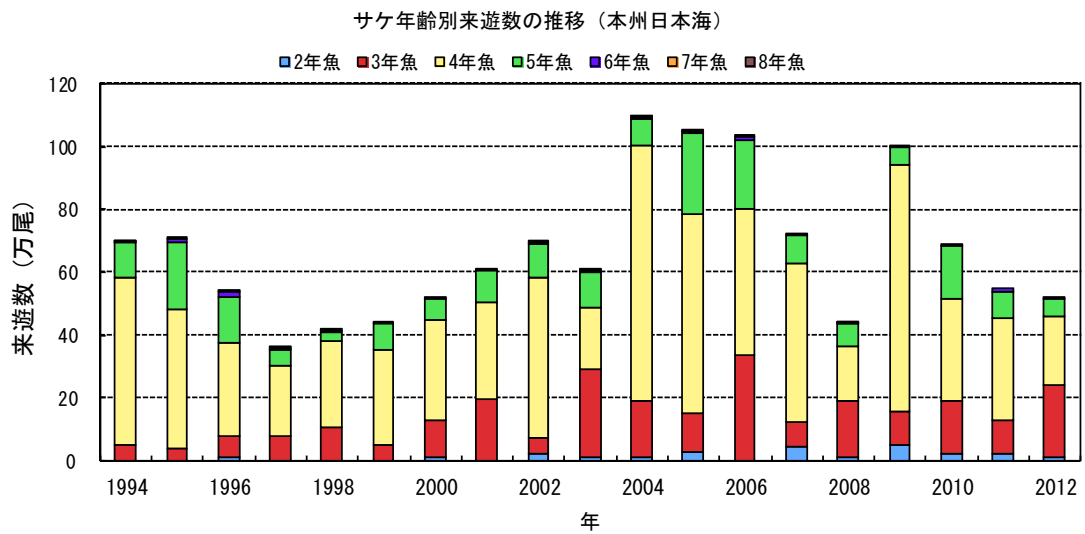


図 7. 11 月末時点のサケ年齢別来遊数 (本州日本海)

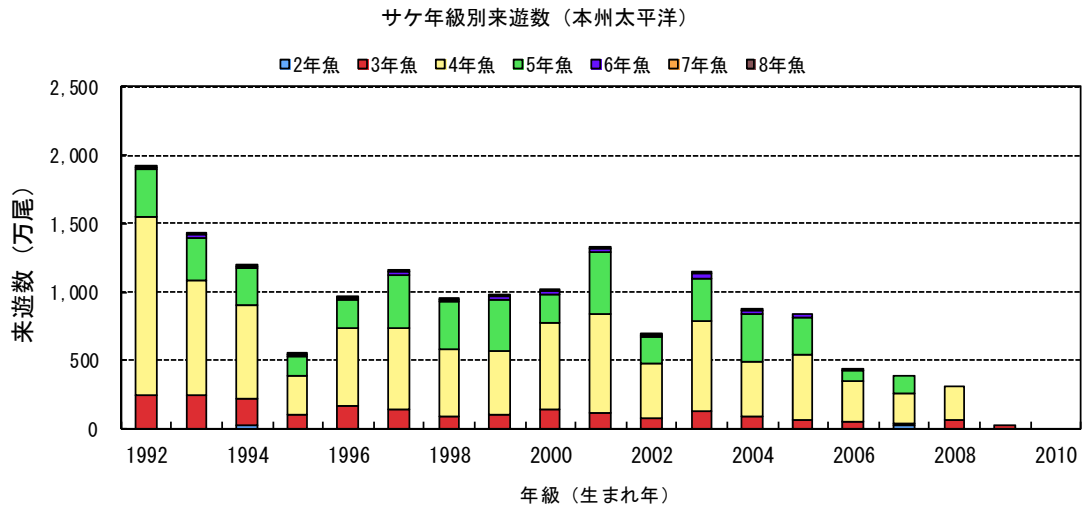


図 8. 11 月末時点のサケ年級（生まれ年）別来遊数（本州太平洋）

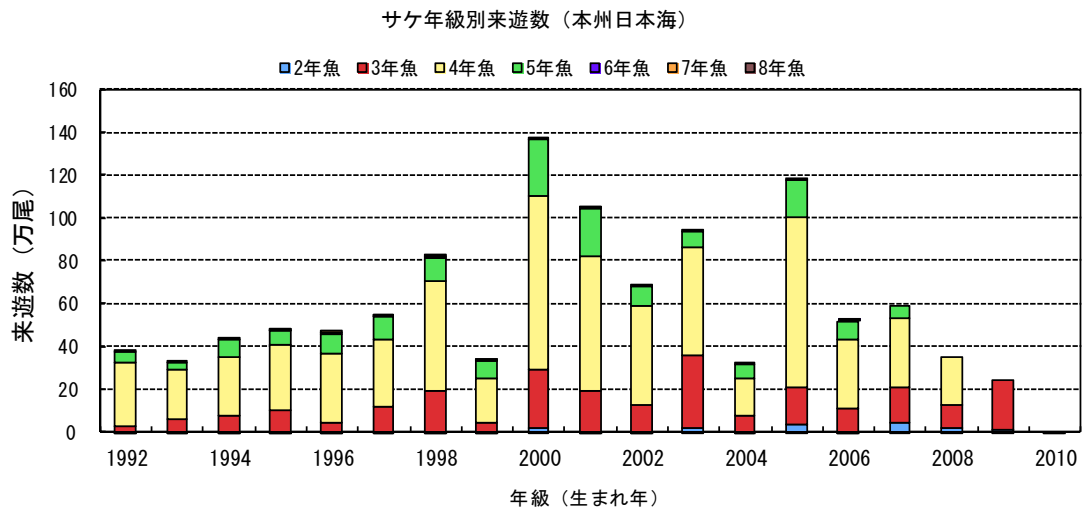


図 9. 11 月末時点のサケ年級（生まれ年）別来遊数（本州日本海）

・サケの体サイズ

本州における 11 月 30 日までのサケ 1 尾当たりの平均重量（サケ漁獲数と漁獲重量から算出）は 2.76kg であり、これは対前年同期比 93.2%と昨年より小さくなっています。

北海道の平均重量は 3.10kg であり、これは対前年同期比 92.5%と昨年より小さくなっています。また、平成元(1989)年～平成 23(2011)年の同時期（11 月末まで）における平均重量を比較すると、小型化が顕著だった 1990 年代前半よりも若干小さくなっています(図 10)。

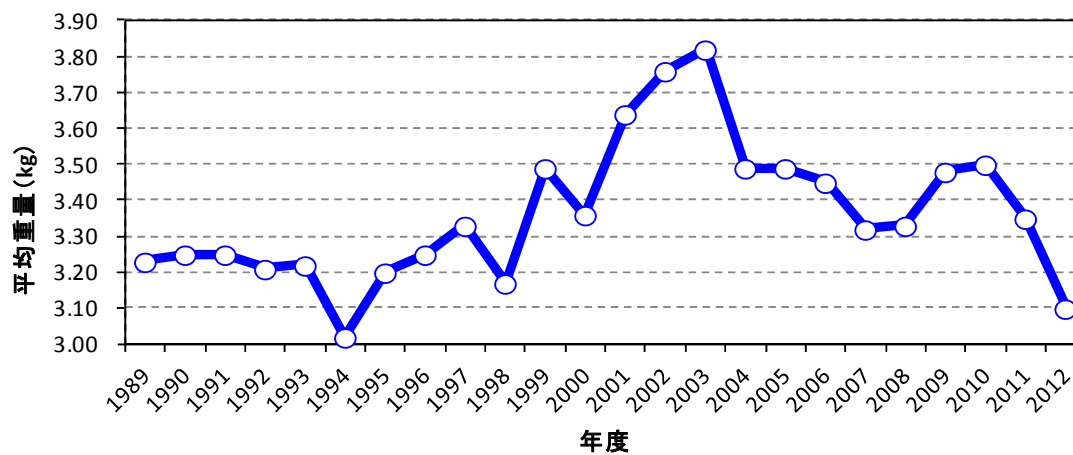


図 10. 11 月末時点のサケ平均重量（北海道）